

福岡的未來の賃貸暮らしの可能性 —ライフステージに応じた新しい住まい方を考える—

キーノート
スピーカー

吉原 勝己 氏

吉原住宅(有) 代表取締役
(株)スペースRデザイン 代表取締役
NPO法人福岡ビルストック研究会 理事長

ケーススタディ
スピーカー

吉浦 隆紀 氏

(有)吉浦ビル 代表取締役
(株)樋井川村 代表取締役村長

モデレーター

吉良 幸生 氏

福岡路地市民研究会会長



福岡市は全国的にも集合住宅居住率が高い都市で、賃貸住宅に多くの市民が暮らすまちです。このように、福岡市においても空き家率・賃貸住宅の空室率は高まっており、中でも経年物件の取り扱いが難しいまちの課題です。

人口減少によるストック活用の時代に入り、福岡市民もライフステージに応じた住まい方が必要で、コミュニティ形成において賃貸暮らしは大きなテーマとなっています。

一方で老朽物件は、視点を変えると まちにイノベーションを誘発することができる地域資源であり、福岡市周辺の都市ではより顕著な役割を果たしはじめているところがあります。そしてそのためには、所有者・入居者・行政そして市民同士が学び合い・考える場が必要だということも解かってきました。

今回、空き家・空きビルであった賃貸マンションを会場に、その取り組みの見学と、県下の事例、賃貸住宅が生み出し始めた新しい住まい方の事例を紹介のうえ、ご参加の皆さまとの議論を深めたいと思います。

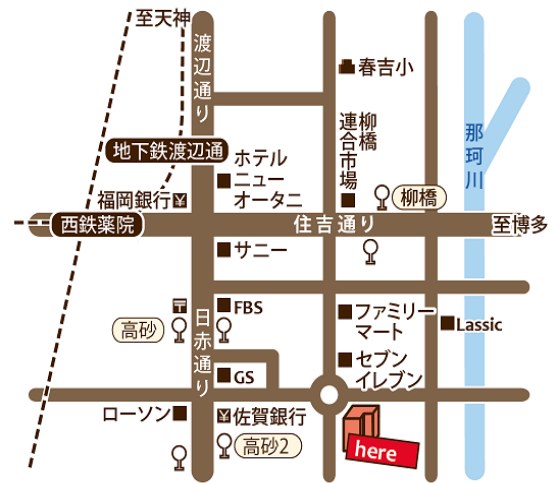
平成29年度 第3回 URC ナレッジコミュニティ 参加者募集!!

【日時】 2017年 **12月7日(木)**

URCナレッジコミュニティは、福岡市のまちづくりや文化、コミュニティ、国際関係など幅広いテーマについて、講師の話をもとに、参加者が相互に語り合う「知のコミュニティ」の場づくりを目指しています。

18:30~18:50 見学会 (受付開始 18:00)
19:00~20:30 講演・グループワーク
(受付開始 18:30)

【会場】 新高砂マンション1F
「清川ロータリープレイス」特設会場
福岡市中央区清川2-4-29



【定員】 **50名** ※先着順受付

【お申し込み】 E-mailまたはFAX(申込用紙は裏面)で、
①氏名・②所属・③電話番号・④Eメールアドレスをご記入の
うえ、下記連絡先までお申し込み下さい。
(メール件名:12/7 第3回URC ナレッジコミュニティ参加希望)

(公財)福岡アジア都市研究所
(Fukuoka Asian Urban Research Center
略称:URC)は、都市政策の調査研究を行う、
福岡市のシンクタンクです。

申込締切:12月4日(月)必着

<http://urc.or.jp/>

清川ロータリープレイスの紹介

「清川が面白い」

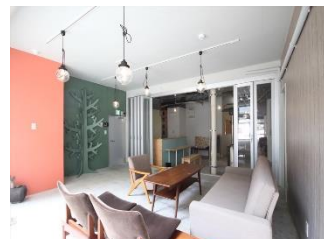
天神でもなく博多でもなく、清川ではじめる。もと遊郭街であったというイメージから、積極的に開発がされず、都心に残った数少ない余白のエリア。

昔ながらの木造民家、古いビルを改装した個性的なカフェ、趣のあるスナックの看板。新旧の建物や人のレイヤーが重なり、醸し出される独特な雑居感に魅せられた開拓者が、今ここに集ってきています。



「混ぜることで生まれるもの」

清川ロータリープレイスは、働き方の革新にチャレンジする”シゴトバ複合施設”です。約110坪の広大なスペースに、生産活動の場である店舗・スタジオ・オフィス区画と、交流を生むラウンジやレンタルスペース、アウトドア空間を凝縮。仕事や趣味が全く違う人たちが、居合わせ、生まれる発見と学びは、新しいコトを生み出す源。清川もまたしかり。私たちは、場の可能性を模索し続けます。



吉原 勝己 氏<プロフィール>

福岡市中央区の旅館育ち。西南中、福岡高校、九州大学理学部卒業後、旭化成で臨床研究を17年行い、大家業の吉原住宅に後継者入社。老朽化経営危機の博多区山王マンションにおける、2003年福岡初のリノベーションが経営再生とひとのつながりを生み出すことを確認し「ビンテージ賃貸」の概念を確立。続き、築58年「冷泉荘」で2012年 福岡市都市景観賞。その後、福岡を中心に28棟を再生。久留米市での経年団地再生事業、大牟田市の商店街活性化など福岡県下のまちの活性化に活動中。

URC H20年度市民研究員。九州大学大学院 人間環境学府 非常勤講師

著書:「新版 エンジョイレトロビル！未来のビンテージビルを創る」(2013年)
「DIY賃貸セルフリフォーム&リノベでファン・ファン・ファン」(2014年)



写真出典: 上3枚
株式会社スペースRデザインご提供

吉浦 隆紀 氏<プロフィール>

1976年生まれ。福岡市で8代にわたる農家に生まれ、大学では商学部を卒業、地方銀行に勤務。退職後、住む場所、仕事を変えながら、九州・東京・NYと人生トータル23回転居しながら、様々な地域、住環境を体験する。

2012年に祖父から築古賃貸マンション「吉浦ビル」を引継ぎ、入居者と一緒にスケルトンからDIYで造る“DIYカスタマイズ賃貸”という手法で、満室と独自のコミュニティを醸成。

2015年には福岡市城南区の旧・樋井川村エリアの“村づくり”を目指す「株式会社 樋井川村」を設立、地域商店街の空きテナントを利用した地域交流拠点「上長尾テラス」を運営しながら、地域の“リノベーター”として活動中。

写真出典: 右2枚
吉浦 隆紀氏ご提供



〒810-0001福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6F 公益財団法人福岡アジア都市研究所
都市政策資料室 Tel: 092-733-5707 Fax: 092-733-5680 E-mail: library@urc.or.jp

「12/7・第3回 URC ナレッジコミュニティ参加希望」

FAX 申込票 (FAX番号:092-733-5680)

(ふりがな) 氏 名:	所 属:
電話番号:	Eメールアドレス:

*お申し込み後、整理券の送付はいたしません。当日は、直接会場へお越しください。

*記載された個人情報につきましては、当研究所行事のご案内以外には使用いたしません。